

実施日：令和6年6月6日（木） コマ：3

事業名：離島振興に必要な経費

【とりまとめコメント】

- ・ EBPM の観点からの評価を提示していただいていると思う。また、修正のご提案のある短期指標にも賛成する。個別にすることによって各自治体にも政策を構築する努力が必要になり、また、横展開も含めて今後の政策遂行のための政策力向上に寄与すると思う。なお、離島振興法の配慮事項も含めた総合的な現状や政策の把握をお願いしておきたい。
- ・ 自治体それぞれが目標を設定していて、達成状況については調査可能であるとのことで、そうした達成状況を短期アウトカムにするという提案があったが、その方針に賛成である。ただし、目標設定自体が適切であるかどうかは検証すべきと思われる。また、効果検証の結果、効果が高いことが確認された事例の横展開も図られるべきであろう。
- ・ この事業が自治体の創意工夫を重視するという特徴があることを考えると、アウトカム指標については、事業開始時に離島振興法に基づき、人口減少防止・定住促進等の一般的 KPI を設定するとともに、個々の補助事業の選定時に提示される細分化したアウトカムの KPI（短期・中期・長期）を審査の対象としてはどうか。その際に、人口減少にもともとの人口規模が影響していないか、他の要因の影響を加味して KPI を評価する必要があるか。
- ・ 短期アウトカムを各事業の成果目標の達成状況とするのは適切だと思う。その一方で、定住促進事業と交流促進事業のそれぞれの中期アウトカムとして、人口の社会増減と観光入込客数を並列させてもよいのではないか。
- ・ 観光入込客数は交流促進事業部分の指標としてある程度適切だが、定住促進事業に関する指標を別途補足すべきである。事業ごとの成果目標の達成割合については、採択状況の競争性が高くないことを考えると成果目標を引き下げる効果をもたらす可能性がある点に留意する必要がある。
- ・ 優良な事例の横展開は大変重要であるため、年1回のセミナーだけでなく、ご関心をもった際に、優良な事例を把握できる情報の発信と、さらに行政や取組の関係者等の担当者同士が交流できるような仕組みも必要だと考える。

【外部有識者のその他コメント】

- ・ 社会増減や人口の目標値については、変化量ではなく変化率に基づいてトレンド分析をしたほうがよいのではないかと。また、交付金の人口減少抑制効果については、人口規模の大きいところで人口減少率が低く交付金の利用頻度も高いという疑似相関の可能性もあるので、人口規模も考慮したうえでより精緻な検証も行っておくとよいのではないかと。
- ・ 却って個性を失わせるリスクはあるが、他の成功事例の共有は重要である。ただし、優良事例は、比較的人的側面も含めて資源に恵まれているところが多くないか（バイアスがかかってないか）少額の事例についてもフォローする。
- ・ 離島での先進事例は、今後、益々人口減少となるであろうわが国全体にも参考になる事例と考えられるため、優良事例の適正な情報発信はわが国全体に寄与するものになると考える。

（以 上）